

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドット相立てくく2

国立市立国立第七小学校

平成26年12月1日 NO.61 (161)



花ちゃん 「あ！モンタサンタさんだ。」

オー君 「こんにちは、おひさしぶりです。」

モンタサンタ 「やあ、花ちゃん・オー君。元気だったかな。」

オー君 「もちろん元気いっぱいです。12月になると、モンタサンタさんは、
いそがしくなるのですね。」

モンタサンタ 「そうなんだよ。あちこちにプレゼントを配り歩かなくてはならないしね。」

花ちゃん 「ところで、『師走』という文字は何と読むのですか。」

オー君 「見たことがあるような・・・ないような・・・。わかりません。」

花ちゃん 「『しそう?』かな・・・。ちょっとちがうみたい・・・。」

モンタサンタ 「この『師走』という文字はね、『しわす』と読むんだよ。」

オー君 「『しわす』か・・・そうか！12月のことなんですね。」

モンタサンタ 「そのとおり。昔はね、1月から12月までを特別な言い方をしたんだね。」

花ちゃん 「へえー。そうなんですか。わたし知りませんでした。」

モンタサンタ 「昔はね、月の満ち欠けをもとに、こよみを作っていて、陰暦というんだ
けど、各月にいろいろと特別な呼び方があったんだよ。」

オー君 「へえー。そうなんですか。ぼく知りませんでした。」

モンタサンタ 「いろいろな月の呼び方をまとめたので、見てごらん。」

陰暦の月の読み方とその意味

ようれきめい 陽暦名	いんれきめい 陰暦名	よ かた 読み方	い み 意味 (いろいろな説があります。ごく一般的な説です))
1月	睦月	むつき	お正月で家族みんなが《むつみあうー仲がよい》という事。
2月	如月	きさらぎ	草や木が芽を張り出し、《草木張月》という事。
3月	弥生	やよい	草木が《弥生・いよおいーますますおいしげる月》の事。
4月	卯月	うづき	うの花《ウツギ…白い花》の咲く季節という意味。
5月	皐月	さつき	五月はもともと《さ》と読むから。五月晴れは、もともと五月雨(梅雨)の合い間のわずかな晴れ間という意味であったが、五月の晴れの日という事もある。
6月	水無月	みなづき	水の月という意味。無は「～の」という事。
7月	文月	ふづき	ふみづきともいう。詩歌を短冊に記して奉納するから。
8月	葉月	はづき	いろいろな説があるが、木の《葉》が落ちる月との事。
9月	長月	ながつき	秋の夜長を鳴き通すという意味で、秋の夜が《長い》。
10月	神無月	かんなづき	10月は神様が出雲に集まり神様が《いない》月だから。
11月	霜月	しもつき	霜が、おり始める月だからというのが一般的。
12月	師走	しわす	師とはお坊さん(僧)の事で、法事などで忙しいから。

花ちゃん・オー君 「うわあー。いっぱいあるな。どうやって覚えたらしいのかな。」

サンタモンタ 「ただひたすら、何度も何度も声に出したり、紙に書いたりするといいよ。」